

主催：立命館大学大学院先端総合学術研究科院生プロジェクト

マイノリティとマジョリティのディスコミュニケーション研究会（MMD研）

共催：立命館大学 生存学研究所 協力：八王子失語症サロンペチカ

講演テーマ

「失語症が生じた後の生活と実際」

日時：2023年11月26日（日）10:00～11:30

会場：Zoom ※9時45分以降入室可能

※文字情報保障あり

（希望者にだけ文字情報保障の画面が表示できるよう対応します。
申し込みフォームで希望をお知らせください。）

オオノ キョウコ氏

70歳代女性。失語症発症から10年。言いたい言葉の出にくさ、また特に文字を書いたり読んだりすることの困難感がある。大学の授業等で失語症当事者として話すこともある。

森本 祐治（モリモト ユウジ）氏

60歳代男性。失語症の発症は61歳。病院事務職として約1年前から職場復帰している。

<講演会の内容>

先天的ではなく後天的で、話す・聴く・読む・書くなどに支障が生じる失語症当事者2名による講演。他者にはわかりにくい失語症のある当事者が、どのように失語症がかかわる困難が生じ、その戦略や対処法はどのようにあるのか、意思疎通支援事業の利用についても語ってもらう。

<プログラム>

10:00 開会挨拶 大谷いづみさん（立命館大学生存学研究所 所長）

10:07 失語症サロンペチカの紹介と説明

澤岡友輝さん（司会・MMD研究会 院生代表者）

テーマ「失語症が生じた後の生活と実際」

10:10 オオノ キョウコさんと司会の対話

10:40 森本 祐治さんと司会の対話

11:10 休憩

11:15 質疑応答

11:25 閉会挨拶 飯田奈美子さん（立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員）

○参加申込

11月23日（木）までに、

下記フォームから参加の申し込みをお願いします。

<https://forms.gle/9YzLVgzLFw45AzNQ7>

登録後、

ZoomのURLを後日メールにて送付いたします。

問い合わせ：種村光太郎

gr0529kp@ed.ritsumei.ac.jp

